



冊子有り

令和7年8月8日

市政記者クラブ 様

熱田区保健福祉センター福祉部福祉課長
角（電話 683-9407）

**子育て・介護が同時に来ても乗り切れる！
「熱田区ダブルケアハンドブック」を発行しました（取材依頼）**

子育てと介護を同時に担う「ダブルケア」状態の方が、適切な支援につながりやすくなるよう、ダブルケアの啓発・支援先の紹介等を盛り込んだハンドブックを作成したためお知らせします。

記

1 発行年月

令和7年8月

2 目的

令和6年度の熱田区民アンケートでは、区民の6割がダブルケアという言葉を知らないことがわかりました。本人がそれと気づかないうちに当事者となってしまうことが考えられ、また一方で、子育てや介護の支援者もどの支援制度につなげれば良いのか分からないことがあります。結果、当事者が孤立し、精神的な限界を迎え、ネグレクトなどの虐待につながることも懸念されます。

この度作成した【ダブルケアハンドブック】を通じ、より多くの区民にダブルケアという言葉を知っていただき、相談先やつどいの場所につながっていただくことで、ダブルケアに直面する方々が少しでも健やかに日々を過ごしていただけるよう願っております。

一人でも多くの方に情報をお届けしたいと考えておりますので、どうぞご協力の程よろしくお願いいたします。

3 特徴

ダブルケアの説明や当事者の声に加え、子育て・介護の相談先や、4月にスタートした当事者のつどい『ダブルケアカフェ』の紹介などを載せました。また、母子手帳ケースに挟んで保管できる仕様となっています。ダブルケア状態になる前の方々や現にダブルケア状態の方々にとって利用しやすく、不安な気持ちに寄り添う内容をめざしました。

4 配布方法

熱田区役所、熱田保健センター、熱田区いきいき支援センターの窓口などで配布
電子版を熱田区公式ウェブサイトにて配布

